

事業概要シート (□事務事業 ■補助金等事業)

事業名称	獣害・病害虫等防除事業			事業種別	補助	担当部課	農林水産課			事務事業No.	21		
事業期間	平成13年度 ~ 継続			記入者	参事 勝田睦実								
事業の経緯	農作物の被害を防止することは、生産意欲や農作物収益の低下を防ぐうえで非常に重要である。本事業では、農作物の生産性及び品質の向上を図るため、農作物被害防止対策に要する経費の一部の補助を行ってきた。				根拠法令	なし							
					根拠条例	なし							
					必須業務の有無	無							
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)	農作物に対する被害を防止するため(総合計画第1期実行計画 方針02-政策01-施策04-視点02)				これまでの成果	成果の内容	水稲共同防除及び電気柵等の設置により、農作物の被害防止を図り、良質な水稲・麦・大豆の生産率の向上						
						活動指標名	電気柵防止対策技術の導入受益面積						
事業概要・施設概要 (補助金の場合、補助率・算出根拠・限度額、対象者など)	①水稲や水田に作付けされる麦・大豆の病害虫を防除するために行なう広域一斉薬剤散布に係る薬剤費に要する経費 ②猿、猪、鹿による農作物被害を防止するために設置する防除網、電気柵、フェンス等の設置に要する経費を補助し、農作物の生産性及び品質の向上を図る。 補助率 ①については事業費の15%以内 ②については事業費の2/3以内				対象者の状況	指標の推移	単位	H19実績	H20実績	H21見込	目標値(H)		
						成果指標名	電気柵等防止対策技術の導入カバー率						
						指標の推移	単位	H19実績	H20実績	H21見込	目標値(H)		
						指標の推移	%	0.3	0.9	0.9	—		
【収入】	千円	H19実績	H20実績	H21見込	対象者の推移	対象者名	農業協同組合又はその他の農業者が組織する団体						
	使用料・手数料					単位	H19実績	H20実績	H21見込	目標値(H)			
国支出金 (補助率)					実施集落数	64	68	63	—				
県支出金 (補助率)		1,377	1,134	322	将来の動向	防除実施集落については、大きな増減はない。電気柵設置集落については、年度により増減がある。							
その他()						委託の現状	なし						
収入合計		1,377	1,134	322	民間委託	受け皿の存在	なし						
【支出】	千円	H19実績	H20実績	H21見込		市における類似事業	特に獣害の総合的な対策については、農林水産課内に鳥獣害対策室を設置し駆除捕獲の実施や防除活動の支援を行なっている。						
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.25	0.25	0.25		近隣・同等規模等の都市の状況	高島市 防除事業補助は無 電気柵設置補助は有 補助率事業費の2/3以内 草津市 防除事業補助については、防除の協議会に対して補助を実施。協議会から300円/袋の補助金支出 電気柵設置補助は無 守山市 防除事業補助については、防除の協議会に対して補助を実施。協議会から450円/袋の補助金支出 電気柵設置補助は無					
		人件費	2,075	2,100	2,100								
臨時・嘱託・再雇用職員	従事人数(人)												
人件費													
事業費(予算・決算)		4,918	4,502	3,253	【収支】	千円 H19実績 H20実績 H21見込							
支出合計		6,993	6,602	5,353		一般財源充当額	5,616	5,468	5,031				
対象者あたり一般財源充当額		88	80	80									
主な事業費(H21見込)	事業名称	事業概要	事業費		国、県の補助金の動向	平成20年度から電気柵等の設置補助1/3から1/4に削減							
	水稲病害虫防除事業	散布薬剤の一部補助	2,380			廃止したときの影響	農業者の労力・費用の負担が大きくなり生産意欲の低下を招く						
	農作物獣害防止対策事業	電気柵等の設置補助	709		その他特記事項(事業仕分けにかけたい理由、議論して欲しい点、留意事項など)		なし						
	水田麦・大豆病害虫防除事業	散布薬剤の一部補助	164										